

実施機関	保健福祉総合センター
調査者名	
整理番号	—

堺市生活保護世帯の大学生等に対する生活実態調査

○調査の協力へのお願い（趣旨）

このたび、堺市では、大阪市立大学と共同で、市内に在住する生活保護世帯の大学・短期大学・専修学校（以下、「大学等」という。）に通学されている学生（以下、「大学生等」という。）に対して、生活実態調査を実施することとしました。

現在、国において、大学等進学を支えるための「給付型奨学金」の創設が検討されています。本調査は、生活保護世帯の大学生等の生活実態や、奨学金の借入状況などを把握することで、学生の支援体制の充実を図ることを目的としています。皆様の回答を支援策の充実につなげていきたいと考えていますので、お手数ですが調査への協力をお願いします。

○個人情報について

ご回答いただいた内容は、氏名・生年月日・住所などの個人を同定できる個人情報と紐付けることはなく、すべて統計的に処理します。そのため、皆さまの回答が他の人に知られることはありません。

○調査結果について

調査結果は、生活保護世帯の大学生等に対する支援体制の充実のための基礎資料としてのみ用い、調査研究の目的以外に使用することはありません。本調査は調査結果をまとめ、集計値を調査報告として公表する予定です。

○調査に関するお問い合わせ

ご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

堺市 健康福祉局 生活福祉部 生活援護管理課

住所：堺市堺区南瓦町3-1 電話：072-228-7412

<平成28年10月1日時点の状況を記してください。>

調査票（学生用）

（調査対象者（世帯分離中の大学生等）に面談を行い、聴取内容を記入してください）

（※直接面談が困難な場合、保護者を通じて聴取しても可）。

1. 学生生活の状況について

（1）あなた（＝世帯分離中の大学生等）の最近1週間（7日間）の生活時間について（それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○）

項目	最近1週間（7日間）の生活時間（単位：時間）							
	0時間	1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31時間以上
1. 大学等の授業	1	2	3	4	5	6	7	8
2. 大学等の授業の予習・復習など	1	2	3	4	5	6	7	8
3. 卒業論文・卒業研究	1	2	3	4	5	6	7	8
4. 大学等の授業以外の学習	1	2	3	4	5	6	7	8
5. 部活動・サークル活動	1	2	3	4	5	6	7	8
6. アルバイト・定職	1	2	3	4	5	6	7	8
7. 就職活動	1	2	3	4	5	6	7	8
8. 娯楽・交友	1	2	3	4	5	6	7	8
9. 通学	1	2	3	4	5	6	7	8
10. 家族とのだんらん	1	2	3	4	5	6	7	8
11. 睡眠時間（時間を記載）	平均睡眠時間 _____ 時間							

（2）あなたの学生生活の満足度についてお聞きします。（それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○）

項目	大いにある	少しある	あまりない	全くない
1. 大学等は楽しい	1	2	3	4

（3）いまあなたには次のような不安や悩みがありますか（それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○）

項目	大いにある	少しある	あまりない	全くない
1. 授業の内容についていけない	1	2	3	4
2. 卒業後にやりたいことがみつからない	1	2	3	4
3. 希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	1	2	3	4
4. 経済的に勉強を続けることが難しい	1	2	3	4
5. 学内の友人関係の悩みがある	1	2	3	4
6. 家族関係の悩みがある	1	2	3	4
7. 学業とアルバイトの両立が困難である	1	2	3	4

(4) いまあなたが、不安や悩みがあるとき、おもに誰に相談しますか (あてはまる番号1つに○)

1. 親 (祖父母等の家族、親戚)	2. 兄弟姉妹	3. 学校の先生や職員	4. 学校の友人、先輩後輩
5. その他の友人・知人	6. 市役所の職員 (ケースワーカーなど)	7. その他 ()	
8. 相談できる相手はいない			

(5) ~ (7) は、「就職活動」を経験されている方にお聞きします。

項目	大いにある	少しある	あまりない	全くない
(5) 学費・生活費をまかなうためのアルバイトが理由で就職活動に支障が出た	1	2	3	4
(6) 経済的に苦しく就職活動が制限された	1	2	3	4
(7) 就職活動中に生活が苦しくなった	1	2	3	4

2. 大学等での授業・学習について

(1) あなたの成績 (2016年度前期の成績 (休学等の場合は、直近の成績を記載)) についてお答えください。(不可の割合は除いて、足して10割になるように記入してください)。

(大学等での評価方法にあわせて、①~③のいずれかに記入してください)

※素点にて成績評価がなされている場合には、調査票記入要領を参照のうえ、記入してください。

	秀 (S, A+)	優 (A)	良 (B)	可 (C)
① 5段階 評価	割	割	割	割

	優 (A)	良 (B)	可 (C)
② 4段階 評価	割	割	割

③ GPA
.

おおよその割合をお答えください

おおよその割合をお答えください

※大学、短期大学以外で、上記のような成績評価の仕組みがない場合は、回答は結構です。

(2) あなたは学校の授業に平均してどの程度出席していますか (2016年度前期)。

1. 0割	2. 1割程度	3. 2割程度	4. 3割程度	5. 4割程度	
6. 5割程度	7. 6割程度	8. 7割程度	9. 8割程度	10. 9割程度	11. 10割

質問 (2) のいずれかで 1. ~ 10. と回答した方に (3) をお聞きします。

(3) 授業に出席しなかった主な理由について、お答えください (1つに○)

1. アルバイト	2. 就職活動・インターンシップ	3. 部活・サークル活動	4. 病気 (体調不良)
5. 友人との約束	6. 授業が面白くない	7. 特に理由はない	8. その他 ()

3. あなたご自身の経済状況について

あなたご自身の1年間の経済状態についてお聞きします。

※ 年額 千円未満は四捨五入、収入額がない場合は千円の位に「0」を記入してください。

※ 各項目については、調査票記入要領をそれぞれ参照してください。

(1) 年間収入額 (平成27年10月～平成28年9月)
(平成28年度入学者のみ平成28年4月～平成29年3月)

項目	千万	百万	十万	万	千	円
(a) 家庭からの給付 (家庭が支払った授業料を含む)						000 円
(b) 日本学生支援機構の奨学金						000 円
(c) 大学等からの給付奨学金 (返済不要の奨学金)						000 円
(d) 大学等以外の機関による給付奨学金 (返済不要の奨学金)						
(e) その他の貸与制の奨学金など (b)の奨学金を除く)						
(f) アルバイト						
(g) 定職収入						
(h) その他 (貯蓄などを取り崩した金額や借入金など)						
※年間収入合計 (ア)						

(2) 年間支出額 (平成27年10月～平成28年9月)
(平成28年度入学者のみ平成28年4月～平成29年3月)

項目	千万	百万	十万	万	千	円
(A) 授業料 (家庭が支払った授業料を含む)						000 円
(B) その他の学校納付金 (入学時の特別納付金を除く)						000 円
(C) 修学費 (教科書、図書代、文具購入費等を含む)						000 円
(D) 課外活動費 (サークル活動、自治会活動など)						
(E) 通学費						
(F) 食費 (外食費を記入)						
(G) 住居・光熱費 (自宅通学者は0を記入)						
(H) 保健衛生費 (診察代、薬代、理髪美容代など含む)						
(I) 娯楽・嗜好費						
(J) 通信費 (携帯電話代など)						
(K) その他の日常費						
(L) 貯金						
※年間支出合計 (イ)						

年間収入合計 (ア) = 年間支出合計 (イ) になるようにしてください

(3) 家庭からの給付のみ (奨学金・アルバイトがなくても) で修学可能ですか (最近1年間の経験から) (1つに○)	1. 修学可能 2. 修学不自由 3. 修学継続困難 4. 家庭からの給付はない
(4) 家庭からの給付と奨学金のみ (アルバイトがなくても) で修学可能ですか (最近1年間の経験から) (1つに○)	1. 修学可能 2. 修学不自由 3. 修学継続困難 4. 家庭からの給付はない
(5) 国民健康保険に加入していますか	1. 加入している 2. 加入していない
(6) 国民年金保険料を納付していますか (※20歳以上の方のみお聞きします)	1. 納付している 2. 学生納付特例制度を利用している 3. 納付していない (学生納付特例制度を利用していない) 4. わからない
(7) あなたは、奨学金・アルバイト収入を一部生活費として家庭に納めていますか	1. 納めている (1. の場合、金額 _____ 円) 2. 納めていない

4. あなたご自身のアルバイトの状況について

あなたご自身の1年間のアルバイトの状況についてお聞きします

アルバイトの有無(最近1年間)(それぞれの項目について1つに○)	(1)【授業期間中】	1. まったくしなかった	2. 不定期的にした	3. 週に1~2日した	4. 週に3日以上した
	(2)【長期休暇中】	1. まったくしなかった	2. 不定期的にした	3. 週に1~2日した	4. 週に3日以上した

質問(1)(2)のいずれかで2.~4.と回答した方に(3)~(8)をお聞きします。

(3) アルバイトの従事職種について(主なもの1つに○)
1. 家庭教師など 2. 事務 3. 販売 4. 飲食業
5. 販売飲食業を除く軽労働 6. 重労働・危険作業 7. 特殊技能 8. その他
(4) アルバイトの従事職種の具体的内容(主なもの1つ)
(例: コンビニ店員)
(5) アルバイトの賃金(時給)(主なもの1つ)
時給: _____円
(6) アルバイトの賃金(月収)(※2つ以上のアルバイトをしている場合、総額をお答えください)
(平均)月収: _____円
(7) アルバイトの収入の主な使い道(主な使い道1つに○)
1. 授業料 2. その他の学校納付金 3. 修学費 4. 課外活動費
5. 通学費 6. 食費 7. 住居・光熱費 8. 保健衛生費
9. 娯楽・嗜好費 10. 通信費 11. その他の日常費 12. 貯金
(8) アルバイトのかけもちについて
1. アルバイトをかけもちしている(かけもちしているアルバイトの数_____)
2. アルバイトをかけもちしていない

質問(1)【授業期間中】で2.~4.と回答した方に(9)~(12)をお聞きします

※ 年額 千円未満は四捨五入、収入額がない場合は千円の位に「0」を記入してください。

アルバイトの時間(最近1年間)(それぞれの項目について1つに○)	(9)【1回あたりの就労時間】	1回あたり 平均 _____時間
	(10)【アルバイトの時間帯】	午前・午後 : _____ ~ 午前・午後 :
	(11)(12)【1月あたりの就労回数】 (※2つ以上のアルバイトをしている場合は、合計をお答えください)	(11) 1か月あたり就労した合計日数 _____ 日 (12) 1か月あたり就労した合計時間 _____ 時間 おおよその平均でお答えください

5. 奨学金の状況について

あなたご自身の1年間の奨学金の状況についてお聞きします

(1) 大学等の授業料減免制度を受けていますか(平成28年度前期分について)(1つに○)	1. 全額を受けた 4. 申請したが不許可になった	2. 半額以上全額未満を受けた 5. 申請しなかった	3. 半額未満を受けた 6. 大学等に減免制度がなかった
(2) 日本学生支援機構の奨学金の受給について(最近1年間の経験から)(1つに○)	1. 第一種奨学金(無利子)を受けた 4. 申請したが不採用になった	2. 第二種奨学金(有利子)を受けた 5. 希望したが申請しなかった	3. 第一種と第二種の併用を受けた 6. 奨学金が必要なかった

質問(2)で5. と回答した方に(3)をお聞きします。

(3) 「希望したが申請しなかった」理由について(1つに○)	
1. 成績基準が合わなかった 3. 申請手続きが複雑なのでやめた 5. 日本学生支援機構以外の奨学金を受けることができたのでやめた	2. 収入基準が合わなかった 4. 貸与のため卒業後の返還が大変なのでやめた 6. その他

(4) 日本学生支援機構以外の奨学金の受給について(最近1年間)(1つに○)	1. 給付奨学金を受けた 4. 申請したが不採用になった	2. 貸与奨学金を受けた 5. 希望したが申請しなかった	3. 給付・貸与の両方を受けた 6. 奨学金が必要なかった
--	---------------------------------	---------------------------------	----------------------------------

(5) あなたは、奨学金に返還義務があることをいつ知りましたか	1. 申込手続きを行う前 4. 返還義務を知らなかった	2. 申込手続中 3. 貸与決定後	
(6) あなたは、大学等に進学することをいつごろ決めましたか	1. 高校入学より前 4. 高校3年生の時点	2. 高校1年生の時点 5. 高校卒業後	3. 高校2年生の時点 6. わからない
(7) あなたは、奨学金の申請をいつごろ決めましたか。(奨学金を受給した方のみ)	1. 高校入学より前 4. 高校3年生の時点	2. 高校1年生の時点 5. 高校卒業後	3. 高校2年生の時点 6. わからない
(8) 奨学金の情報はどなたに教えてもらいましたか(1つに○)	1. 親(祖父母等の家族、親戚) 4. 学校の先輩 6. 市役所の職員(ケースワーカーなど)	2. 兄弟姉妹 5. 友人・知人	3. 学校の先生や職員 7. その他()

(9) 奨学金の主な使い道(あてはまるものすべてに○) 主に家庭からの給付・アルバイトでまかなっているものは除外してください	1. 授業料 5. 通学費 9. 娯楽・嗜好費	2. その他の学校納付金 6. 食費 10. 通信費	3. 修学費 7. 住居・光熱費 11. その他の日常費	4. 課外活動費 8. 保健衛生費 12. 貯金
---	-------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	--------------------------------

(10)～(12)は、「貸与型奨学金」を受給している方のみにお聞きします。

(10)奨学金の受給額について	月額：_____円
(11)大学等の入学時に「入学時特別増額」を受給の有無	1. 入学時特別増額を受給した(金額 _____円) 2. 入学時特別増額を申請しなかった
(12)卒業までの奨学金の借入総額 (見込みでお答えください)	1. 0～50万円未満 2. 50万円～100万円 3. 100万円～200万円 4. 200万円～300万円 5. 300万円～400万円 6. 400万円～500万円 7. 500万円～600万円 8. 600万円～700万円 9. 700万円～800万円 10. 800万円～900万円 11. 900万円～1000万円 12. 1000万円以上

※(10)(12)については、独立行政法人日本学生支援機構の「貸与額通知書」が発行されている場合、(10)＝「現在の貸与月額」、(12)＝「貸与終了後の返還総額(予定)」を参考に記入ください。

(13)卒業後の奨学金の返済計画を意識していますか	1. 奨学金の返済について、具体的(金額、返済期間など)に意識している 2. 奨学金の返済について、具体的ではないが意識している 3. 奨学金の返済について、あまり意識していない 4. 奨学金の返済について、ほとんど意識していない
(14)貸与終了後の月賦返還額(予定)	1. 把握している (1. の場合、金額 _____円) 2. 把握していない
(15)貸与終了後の返還回数(期間)(予定)	1. 把握している (1. の場合、回数 _____回 (____年)) 2. 把握していない
(16)卒業後の奨学金の返済に不安はありますか	1. とても不安である 2. 少し不安である 3. どちらでもない 4. ほとんど不安はない 5. 全く不安はない

※(14)(15)については、独立行政法人日本学生支援機構の「貸与額通知書」が発行されている場合、(14)＝「貸与終了後の月賦返還額(予定)」、(15)＝「貸与終了後の返還回数(期間)(予定)」を参考に記入ください。

6. 奨学金とアルバイトの用途について

あなたの現在のアルバイト収入と奨学金は、学費及び生活費をまかなうために十分な金額かどうかについてお聞きします。

(1)アルバイト	1. 十分足りている 2. やや足りている 3. どちらともいえない 4. やや足りていない 5. 全く足りていない
(2)奨学金	1. 十分足りている 2. やや足りている 3. どちらともいえない 4. やや足りていない 5. 全く足りていない

(3)大学等進学後、奨学金とアルバイトのみでは不足し、家庭からの給付で補ってもらったことがありますか

1. 家庭からの給付で補ってもらったことがある	2. 家庭からの給付で補ってもらったことはない
-------------------------	-------------------------

「アルバイトの賃金（月収）」（質問項目 4.（6））及び「奨学金の受給額（月額）」（質問項目 5.（10））などについて、再度お聞きします（※授業期間中の平均的な金額でお答えください）。

（4）アルバイトの賃金（月収）について	月額： 円	（5）奨学金の受給額について（月額）	月額： 円	<u>（4） + （5）</u> 月額 円
---------------------	-------	--------------------	-------	--------------------------

※（4）は、複数のアルバイト・奨学金収入がある場合、総額でお答えください。

（6） （4） + （5） の使途をパーセンテージでお答えください。

（記入例）

項 目	割 合（％）
①授業料（後日の納付のためにおいてある場合含む）	40 %
②授業料以外の学費（通学費含む）	10 %
③課外活動費（サークル活動、自治会活動など）	0 %
④食費（外食費を記入）	10 %
⑤保健衛生費（診察代、薬代、理髪美容代など含む）	5 %
⑥被服費（衣服代）	10 %
⑦娯楽・嗜好費	10 %
⑧通信費（携帯電話代など）	10 %
⑨その他の日常費	5 %
⑩貯金	0 %
⑪家庭に生活費として納付	0 %

（回答）

項 目	割 合（％）
①授業料（後日の納付のためにおいてある場合含む）	%
②授業料以外の学費（通学費含む）	%
③課外活動費（サークル活動、自治会活動など）	%
④食費（外食費を記入）	%
⑤保健衛生費（診察代、薬代、理髪美容代など含む）	%
⑥被服費（衣服代）	%
⑦娯楽・嗜好費	%
⑧通信費（携帯電話代など）	%
⑨その他の日常費	%
⑩貯金	%
⑪家庭に生活費として納付	%

7. その他

（1）あなたが大学等に進学した理由についてお聞きします（それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○）

項 目	とても あてはまる	やや あてはまる	あまり あてはまらない	ぜんぜん あてはまらない
1. 将来の仕事に役立つ勉強がしたいから	1	2	3	4
2. 専門的な研究をしたいから	1	2	3	4
3. 幅広い教養を身につけたいから	1	2	3	4
4. 大卒等の学歴がほしいから	1	2	3	4
5. 資格や免許を取得したいから	1	2	3	4
6. すぐに社会にでるのが不安だから	1	2	3	4
7. 自由な時間を得たいから	1	2	3	4
8. 周囲の人がみな行くから	1	2	3	4
9. 先生や家族が勧めるから	1	2	3	4

(2) 低所得世帯の子どもが、大学等への進学・就学を希望した際に、大学等への進学・就学継続を支えるために、どのような制度があればよいと思いますか (あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|------------------|----------------|------------|-----------|
| 1. 給付型奨学金 | 2. 無利息の貸与型奨学金 | 3. 学費の減免制度 | 4. 進路相談窓口 |
| 5. 大学生等への生活保護の適用 | 6. アルバイトの斡旋・紹介 | 7. 特に必要ない | |
| 8. その他 () | | | |



質問(1)で1.を回答した方に(2)をお聞きします。

(3) 給付型奨学金の金額(月額)はいくら必要だと思いますか。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|------------|
| 1. 1~2万円 | 2. 2~3万円 | 3. 3~4万円 | 4. 4~5万円 | 5. 5~6万円 |
| 6. 6~7万円 | 7. 7~8万円 | 8. 8~9万円 | 9. 9~10万円 | 10. 10万円以上 |

8. 自由記述欄(金銭的・経済的や、学生生活を送る上で困ったことがあれば、記入ください)

質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。